

なぜ、天才は、アイデアが「降りてくる」と感じるのか

ところで、先ほど、我々の心は、この「ゼロ・ポイント・フィールド」と量子レベルで繋がっており、我々の心は「ゼロ・ポイント・フィールド」から情報を受け取ることができ、また、この場に情報を送ることができる述べた。

もし、そうであるならば、我々が発揮する直観力や想像力、発想力や創造力といったものは、実は、我々の「脳」が生み出すものではなく、「ゼロ・ポイント・フィールド」から与えられるものであるとも言える。

このこともまた、現時点では「仮説」にすぎないが、もし、このことが科学的に実証されるならば、我々が、自らの「才能」や「能力」というものを考えるときの、根本的なパラダイム転換をもたらす可能性がある。

実際、これまで世に現われた多くの「天才」と呼ばれる人々は、研究や学問、芸術や音楽など、分野を問わず、職業を問わず、そのアイデアや発想がどこから生まれてくるのかを問われたとき、誰もが、例外なくと言って良いほど、「どこかから降りてきた」「天啓のごとく与えられた」といった表現をする。「頭で考え抜いて、思いついた」といった表現をする人は、あまりいない。

そうであるならば、我々一般の人間と、「天才」と呼ばれる人間の違いとは、生まれつきの脳の構造の違いでも、遺伝子的なDNAの違いでも、先天的な能力の違いでもなく、「ゼロ・ポイント・フィールド」と呼ばれるものと繋がる能力の違いであり、その能力は、「心の世界を変える技法」を修得することによって、後天的に身につけられるものであるとも言える。

そして、本書の主題に戻って言えば、「良い運氣を引き寄せる力」の違いというものも実は、「持って生まれた運の強さ」といったものではなく、このフィールドに繋がる能力

の違いであり、やはり、その力は、「心の世界を変える技法」を修得することによって、後天的に身につけられるものである。

こう述べると、あなたは、当然、次の疑問を持たれるだろう。

では、その「心の世界を変える技法」とは、何か。